



新しい伊達博物館の実設計が完了しました。
市民の皆さんと共に、宇和島の宝である文化財を未来へと伝えます。



鼎談「新たな地域活動の拠点となる博物館へ」



新伊達博物館の特徴「まもる・みせる・いかす」

建築設計を担当した建築家の隈 研吾 さん、
展示設計を担当した㈱丹青社の田中 利岳 さん、
岡原 文彰 市長が、新伊達博物館に込めた
思いを語りました。

鼎談の動画や改築事業の詳細は、
市ホームページをご覧ください。



ID : 0091557

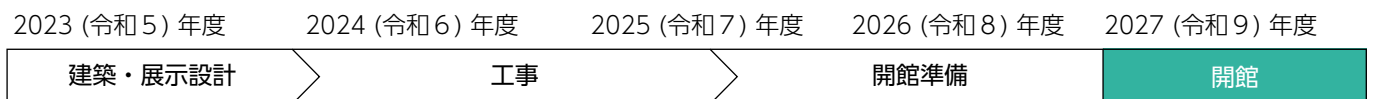
- ▶災害から文化財を守りぬく蔵として展示・収蔵エリアを充実し、文化財を安全に保管できる収蔵環境を確保
- ▶新博物館、天赦園などをつなぐ回遊動線を設けることで連動性を生み出し、伊達文化エリア全体の魅力を向上
- ▶ウォーキングやイベントなどで活用できるように広場、交流カフェスペース、研修室などの交流スペースを広く確保

■新伊達博物館改築事業費

総事業費		財源		市の実質的な負担額
金額	内訳	金額	金額	金額
約48.5億円 (税込み)	国庫支出金	約21.8億円	約10.4億円	※金額は増減する可能性があります ※跡地整備費(現博物館解体・公園整備)を含みます
	市債	約23.4億円		
	一般財源	約3.3億円		



■令和9年春の開館を目指します



問 伊達博物館 ☎22 - 7776